

大学生 地球ミーティング 2026

2026 年 1 月 13 日

NPO 法人 Supratarka

目的

本会議を通じて、参加国の大学生が自由に意見交換を行い、互いの歴史・文化・慣習への理解を深めることを目的とする。これにより、国境を越えた同世代間の相互理解と連帯を促進する。

また、学生委員会やボランティアスタッフとしての参加を含め、将来を担うリーダーの育成を図る。

会議テーマ

国による「幸福」に対する価値観の違い

テーマの意味：「国による『幸福』に対する価値観の違い」という会議テーマは、国や文化によって人々が何に幸せを感じるのかが異なることに目を向け、その違いを知ることを意味している。

テーマの目的：このテーマの目的は、各国の考え方や生活背景を理解し、価値観の違いを尊重し合う姿勢を育てることである。また、話し合いを通して自分たちの当たり前を見直し、多様な文化への理解を深めることにつながることも目的としている。

参加者 3 カ国から各 10～40 名程度の大学生

1. 日本（沖縄） 名桜大学 学生

<https://www.meio-u.ac.jp/>

2. タイ（チェンマイ） チェンマイ・ラチャパット大学 国際カレッジ 学生

<https://www.inter.cmru.ac.th/>

3. インドネシア（ジョグジャカルタ） アフマド・ダラン大学 学生
<https://uad.ac.id/>

開催日程

1. 本会議：2026 年 4 月 25 日（土） ※約 3 時間
2. 分科会：本会議前に複数回実施予定(少人数による分科会)

開催場所

日本： 大学よりオンライン参加
タイ： 会議室
インドネシア： 大学よりオンライン参加

開催形式

- 3 か国をオンラインで接続（ビデオ通話）
- 使用システム：Google Meet
- 通訳を配置し、多言語による討論を実施
※全参加者が英語話者であることは想定していない

参加費 無料

主催

特定非営利活動法人 スプラタルカ

プログラム運営

1. 学生委員会による運営

- テーマおよびプログラム詳細は学生委員会で協議・決定する

2. 学生委員会メンバーの選出

- 各国 2～3 名の学生リーダーを選出
- 英語話者である必要はない

3. 学生委員会会議

- オンラインで定期的実施
- 通訳ソフト等を活用し多言語で議論する

4. 分科会の実施

- 必要に応じて全参加者による小グループ討議を実施

本会議プログラム（日本時間）

	時間	プログラム	内容
挨拶	14:30-14:35 (5 分)	アイスブレイク	<全参加学生> ・緊張をほぐすことを目的とする ・各国の言語で挨拶を紹介する ・全員で紹介された

			フレーズを繰り返す
大学・地域紹介	14:35-15:00 (21 分) 7 分×3	各大学および地域の 紹介 (日本、タイ、イン ドネシアの順)	<発表者：日本・タイ・インドネシア> ・各国が自国の大学と地域を簡潔に紹介 ・写真、動画、図などを用いて説明 ・相互に質問可能
テーマ討論	15:10-16:30 (75 分) 25 分×3	テーマ討論 テーマ：「 各国における『幸せ』に関する価値観の違い 」 (日本、タイ、インドネシアの順)	・意見共有と議論 ・画面共有を使用 ・英語または母語（通訳あり） ・他国から質問 ・会議マネージャーが進行する ・発表を元に、お互いで議論し、テーマについての理解を深める
	16:30-16:35 (5 分)	休憩	5 分間の休憩
自由質問	16:40-17:20 (40 分)	自由質問	<全参加学生> ・自由に質問 ・話題制限なし（アニメ、学校生活、休日など） ・会議マネージャーが進行
閉会	17:25-17:30	閉会の辞	<各国リーダー>

	(5 分)		・ 順番に挨拶 ・ 記念撮影 ※ビデオ通話終了
--	-------	--	-------------------------------

1. 事前準備

1. 学生委員会メンバー選出

- プログラムの詳細を決定するため、学生委員会のメンバーは事前に必要である
- 各大学(国)から 2～3 名を選出

2. テーマに基づく個人意見準備(参加者全員)

- テーマに基づき、紹介したいアイデアはいくつあっても構わない

3. 各国代表意見 1 案の選定

- 最初に、各学生からすべてのアイデアを集める
- 各参加者でそれらのアイデアを議論し、テーマに基づいて 1 つのアイデアを選ぶ
- 発表用の資料を作成(国ごとに発表する)
- 写真・イラスト・図・動画などを資料に含める
- 資料は Google スライドまたは PowerPoint 形式で保存する
- 当日は画面共有を使用
- 発表時間は合計 5 分以内(討論時間を確保するため)
- 通訳を円滑にするため、表現は短く簡潔なフレーズを使用すること
- 通訳にかかる時間を考慮して発表時間を調整すること

4. 大学・地域紹介資料作成

- 会議時間短縮のため、紹介資料は事前に共有
- 写真や図を用いて、地域と大学を紹介
- 会議と当日のスライドは 10 枚以内とする

5. 文化紹介 (3 分) 準備

- どのような文化パフォーマンスを行うか、誰が担当するかを話し合う
- 担当者は必要な準備を行う
- パフォーマンス時間は3分間

6. 発表者選出

- 地域・大学紹介の発表者
- 文化紹介の発表者
- テーマ発表の発表者(数名)

会議ルール

1. 全参加者は質問・意見表明を行うこと
2. 他者の意見を自国の価値観で批判しない。歴史・文化・習慣・出来事などの多様性を尊重すること

* 建設的な質問や意見は歓迎する

コミュニケーションの流れ

発表者(母語)

質問者(母語)

→通訳(英語)→通訳1(言語1)→学生

→通訳(英語)→通訳1(言語1)→発表者

→通訳2(言語2)→学生

→通訳2(言語2)→発表者

注意事項

- 参加者の選考は、参加への意欲や姿勢を重視する

- 英語能力のみを基準に選考することはない
- 本プログラムの目的は英会話ではなく、国境を越えた意見交換と議論である

プログラムスケジュール

1. 10月：学生委員会選出
2. 10～12月：プログラム詳細決定
 - 内容およびスケジュールは学生委員会で協議・決定する
3. 12～1月：参加者募集
 - 募集用ポスターや資料を作成
 - ボランティアスタッフも募集
4. 2～4月：参加者全員を対象とした少人数の分科会(交流会)
 - 必要に応じて臨時開催
5. 2026年4月25日：本会議開催
 - 当日の詳細スケジュールは学生委員会が決定

連絡先

Supratarka(NPO)

Email:info@supratarka.org

担当：Honda Katsuya



<https://www.supratarka.org/>

<https://www.facebook.com/supratarka/>

https://www.instagram.com/supratarka_official/

